

## 第1部 所沢の景観

## 第1章 景観特性

所沢市の景観特性について、自然景観、歴史・文化景観および市街地景観の3つの視点から整理します。

### 自然景観

#### ～多様な地形による自然豊かな景観～

所沢市では、武蔵野台地、狭山丘陵および河川による低地や段丘等の多様な地形が見られます。

こうした地形により、狭山丘陵や柳瀬川沿いの斜面林、市街地周辺の平地林および農地等のみどりが、市街地を囲むように広がり、四季の彩を与えると同時に、街並みの背景となっています。

また、狭山湖周辺は、その良好な眺望により、市民の憩いの場となっています。さらに柳瀬川、東川および砂川堀が丘陵地を水源として北東へ貫流し、市街地にうるおいを与える水辺の景観をつくり出しています。



狭山丘陵



柳瀬川沿いの斜面林



茶畑

## 歴史・文化景観

### ～人々の営みが生み出した景観～

所沢市には、河川に沿って縄文・弥生時代の遺跡が多く分布し、奈良時代から江戸時代にかけて発達した古道も残っています。また、この古道沿いに点在する寺社、丘陵や台地に残されている城跡や古戦場、さらに三富新田等の様々な歴史的資源が時代とともに姿を変えつつ残っており、こうした歴史的な景観が見られます。

一方では、古くから続く神社等の例祭・大祭等の伝統文化や重松流祭ばやし・岩崎鯿（ささら）獅子舞等の民俗芸能が継承されています。

近年になって、市民文化フェア、ところざわまつりおよび市民フェスティバル等の新たな市民文化も生まれ、各地区でこうした様々な歴史や文化に触れることができます。



小手指ヶ原古戦場碑と白旗塚



三富新田



ところざわまつり

## 市街地景観

### ～様々な表情をもった街の景観～

所沢市の市街地は、その大部分を住宅地が占め、それぞれ豊かな表情をもつ多様な街並みが見られます。

鉄道駅の周辺では商業地としてのにぎわいを見せており、中心市街地では歴史的資源や昔ながらの街並みと新しい街並みが混在しています。また、幹線道路沿いでは、商業施設等が建ち並んでいる多様な道路沿いの景観をつくり出しています。

行政・文化施設が建ち並ぶ地区では、ゆとりとまとまりの感じられる街並みが見られ、特に、みどりの拠点である所沢航空記念公園は、市民の憩いの場として親しまれています。また、公共施設は良好な景観の形成を進めるための重要な要素となっています。



中富南の街並み



プロベ通り



所沢航空記念公園

## 第2章 景観の形成上の課題

景観特性を踏まえ、所沢らしい良好な景観の形成を進めるため、景観の形成上の課題を整理します。

### 景観特性を活かした景観をつくる

所沢らしい良好な景観を形成するには、これまで多くの人々の手により育まれてきた景観特性を活かし、維持していくことが必要であり、特に、みどりと市街地の調和や、良好な眺望の確保が求められています。

そのため、多くの人々に景観特性を知って、触れて、親しんでもらうことや、景観特性に関連するまちづくり施策との連携・調整の必要があります。



東川の桜並木

### やすらぎや憩いを感じられる街並みの景観をつくる

所沢市は、住宅地を中心に、商店や事務所など様々な生活の場が集積して、多様な街並みを形成しています。

このような街並みを活かして、やすらぎや憩いを感じられる地域の土地利用やみどりに配慮した良好な景観の形成が大切です。



緑町の住宅地

### 都市としての表情をもつ景観をつくる

所沢市には、商業・業務機能、交通・流通機能および情報・文化機能が集積し、県南西部の中核的な都市として、ふさわしい表情づくりが求められています。

また、本市は鉄道駅を中心に発展してきており、各駅周辺がそれぞれの特性を活かし、生活の拠点として魅力とにぎわいの感じられる景観をつくる必要があります。



所沢駅西口前

### 親しみのある公共施設による景観をつくる

道路、河川、公園、小・中学校および公民館等の建築物を含む公共施設は、多くの市民が利用し、接する機会も多いことから、市民にとって身近なシンボルとして親しみがもてることが大切です。また、公共施設は周辺の民間施設における景観的な質の向上を促す役割が期待されます。

そのため、周辺の景観に配慮した親しみのある公共施設の整備や維持・管理に努めます。



航空公園駅前のケヤキ並木

### 身近な市民活動による景観をつくる

良好な景観は、そこで生活する人々の身近な取り組みの積み重ねによって形づくられます。

農地や雑木林等のみどりは、継続的な管理が求められ、住宅地の街並みも市民の暮らしのなかでつくられ、維持されています。また、地域における伝統文化等も人々の手により守り伝えられています。

このように景観は、つくるだけではなく、維持・管理や次世代への継承が欠かせないものです。そのため、市民一人ひとりが身近な取り組みから始め、さらに地域や団体等の市民活動へと発展することにより、景観まちづくりが充実していくことが大切です。



せせらぎ遊歩道花壇



花植え活動



荒幡富士の清掃活動